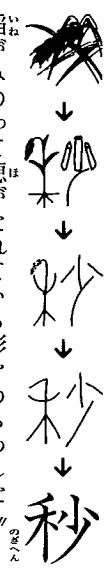


秒

三年 筆順 画数
オン フン 9
ビヨウ ビヨウ

成り立ち



稻がみのつて穂がたれている形をあらわした「禾」と「わずか」といういみの「少」とを組み合わせて作った字です。「稻の穂先のはそい」とげ(のぎ)をあらわした字です。「のぎ」がとても小さいことから、「とても小さなもの」といういみにつかわれ、今では、「とてもわずかな時間」といういみから、「いちばんわずかな時間の「たんい」をあらわす名前」につかわれるようになりました。

例寸秒→一秒(一時間の三百六十分の一)。また、「かくど」の「たんい」をあらわす名前としてもつかわれています。一どの三百六十分の一が「一秒」です。

病

三年 画数 10
筆順 一 广 广 痘 痘 痘 痘
オン ビヨウ・ヘイ
クン やリむ・やまい

成り立ち



ベッドの形をあらわした「ノ」と、人のねた形をあらわした「ノ」とを組み合わせた「ノ」は、「病氣」のいみをあらわすので、「病だれ」といいます(「ノ」のような形を「たれ」といいます)。「ノ」は「雁だれ」といっては「麻だれ」といいます。

病は、「病氣」のいみの「ノ」と、いきおいの強いいみの「内」とを組み合わせて作った字で、「重い病氣」といういみで作られた字ですが、今は、ただ「病氣」といういみにつかわれています。

〔ビヨウは呉音、ヘイは漢音。熟語の多くは呉音で読まれる。〕

△一刻。一秒を争う、というような救急患者が、毎日のように病院に運び込まれます。お医者さんというのは、本当に大変なしごとです。

△船は、一秒のくるいもなく、真北をめざして航海を続けました。

使い方

熟語例

△寸秒(ごくわずかの時間。「列車は、寸秒たがわざ東京駅に着きました」などというふうに、つかいます。)

△秒針(時計で、秒を表す針。「このごろ、秒針のある時計がすくなくなつた」などというふうに、つかいます。)

△秒速(一秒あたりに進む速さ。「秒速三十メートルの強い風」などというふうに、つかいます。)

△秒読み(秒単位で、かかる時間を読みあげること。「口ケットうちあげの秒読みが、開始された」などというふうに、つかいます。)

使い方

熟語例

△「むかしは胸を病んで、なくなつた人が多勢いました。今は良い治療法が発見されたので、胸の病で死ぬ人は少なくなりました。」

△「病は氣から」ということばがあります。氣で病む人も多勢いるようです。いつも、明るい気持ちでいると、病気にはかかりにくく思います。

熟語例

△病状(病氣の状態。「医師に病状をきかれたので、熱が

あつて頭が痛いと答えた」などというふうに、つかいます。)

△病名(病氣の名前。「病名は、急性虫垂炎だそうだ」などというふうに、つかいます。)

△看病(病人の世話をみること。「おかあさんが看病疲れで、倒れてしまつた」などと、つかいます。)

△疾病(病氣のこと。「疾病の中でも、がん、心臓病などでなくなる人が多い」などと、つかいます。)